

経営比較分析表（令和元年度決算）

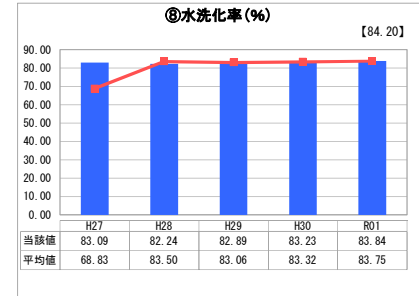
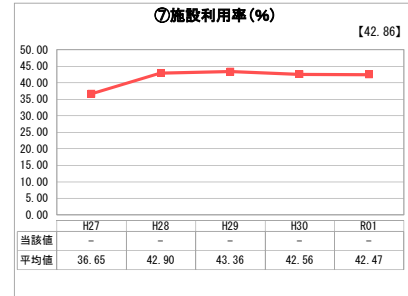
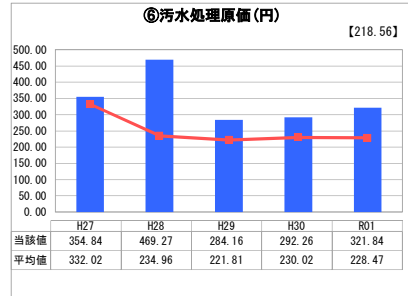
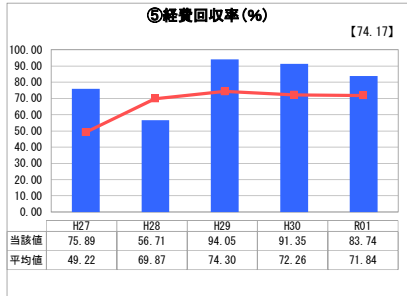
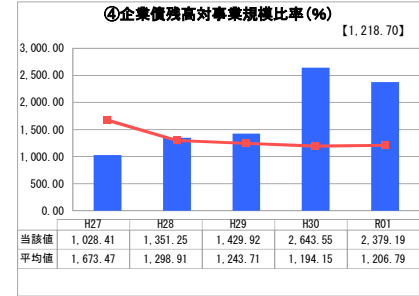
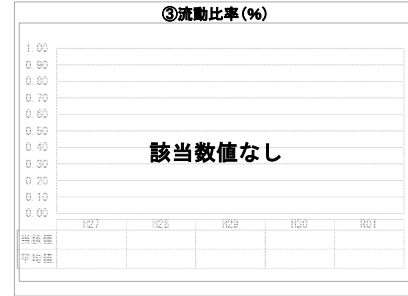
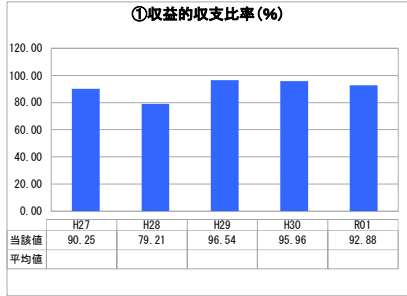
北海道 浦臼町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	63.49	86.30	5,016

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
1,785	101.83	17.53
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,120	1.01	1,108.91

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
平成24年度に約28.5%増の料金規定を行いました
が、収益的収支比率が92.88%となるため、更なる
経費削減が必要です。

④企業債残高対事業規模比率
類似団体より高く、今後下水道施設の更新等考えら
れるため、引き続き経営改善が必要です。

⑤経費回収率
経費回収率が83.74%と、使用料より汚水処理費が
高く経費回収がされていないため、汚水処理費の削
減が必要です。

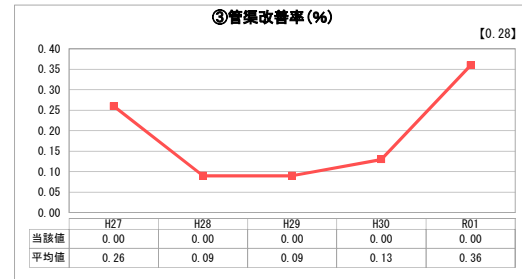
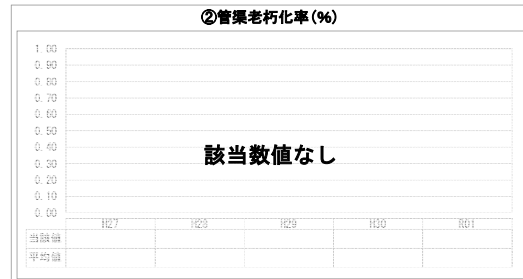
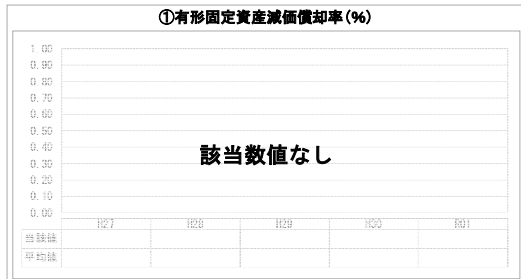
⑥汚水処理原価
汚水処理原価が類似団体と比較して高いため、維持
管理費の削減、接続率の向上による有収水量を増加
させるなど経営改善が必要です。

⑧水洗化率
水洗化率が83.84%となり横ばい傾向ではあるが微
増している状態である。汚水処理が適切に行われて
おらず、水質保全の観点から問題が生じる可能性が
あることや、使用料収入を円するため水洗化率向上の
取組が必要である。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
平成14年に供用開始となるため、法定耐用年数を超
えた管渠はありませんが、今後の管渠更新等に向け
た財源確保等の経営改善の実施などを行う必要があ
る。

2. 老朽化の状況



全体総括

本町のように人口密度の低い過疎地域においては、
資本費が高くなり料金収入による回収は難しいた
め、料金収入と一般会計からの繰入金により、維持
管理費等の費用を賄っております。経営改善に向け
ては、平成24年度に料金改定を実施し、歳出削減を
図るため、維持管理の効率化を行い経費抑制をして
おります。管渠などの下水道施設は適正な維持管理
を行っております。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。